

# なでしこわくわくルール

みなさん、こんにちは！<sup>ど にち</sup> 土日に各学年で出された<sup>あた</sup>新しい課題にとりくんでいますか。<sup>わ</sup> 分からないところがあっても、<sup>がっこう</sup> 学校が始まった<sup>はじ</sup>ら一緒にやりますから大丈夫ですよ。とにか<sup>だいじょうぶ</sup>くできるところをがんばってやってみましょう。

さて、今日は、<sup>きょう</sup> 字の形を整えて書いたり、<sup>まちが</sup> 間違っただけをきれいに消したりするポイントを紹介し<sup>しょうかい</sup>ます。ちょっと<sup>き</sup> 気を付けるだけで、ノートなどがぐっと見やすくなるので、やっ<sup>つ</sup>てみましょう。

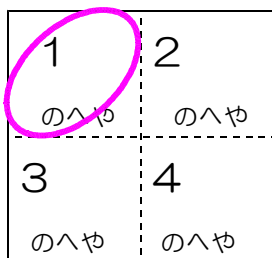
## 「字を整えて書こう」にチャレンジ！


### 1 鉛筆を正しく持って、姿勢良く書こう




これは、<sup>きほん</sup> 基本ですね。  
「<sup>わ</sup> 分かっているけど、<sup>むずか</sup> 難しい」という<sup>ひと</sup> 人は1日5分からでもいいので、<sup>き</sup> 気を付けるようにしていきましょう。

### 2 字の書き始めに気をつけよう




ノートにはよく  のマス目<sup>め</sup>になっているものがありますね。実はこの「マス目の部屋」<sup>め</sup> をうまく使うだけで、<sup>じ</sup> 字の形がぐっと<sup>ととの</sup> 整うのです。

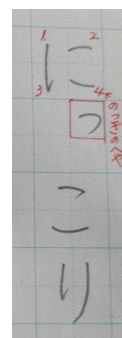
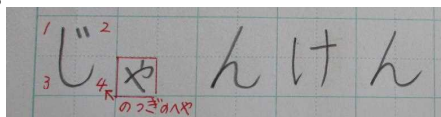
すべてのひらがな、ほとんどのカタカナや漢字は  の<sup>へ</sup> 部屋<sup>や</sup>のピンクの丸<sup>まる</sup>の<sup>ところ</sup> 所から1画目が始まります。1の部屋<sup>め</sup>のどこから<sup>じ</sup> 字を書き始めるか<sup>き</sup> 気をつけることが、バランスよく<sup>ととの</sup> 整った字を書<sup>か</sup>くための<sup>たいせつ</sup> 大切なポイントです。

ちなみに・・・

小さい「や」「ゆ」「よ」や「っ」は、マス目<sup>め</sup>のどこに書くといいかな？

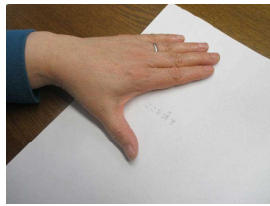
正解は、たて書きの時も横書きの時も前の文字の  の部屋<sup>め</sup>にくっつく<sup>へ</sup> 部屋<sup>や</sup>に書きます。たて書きの時と横書きの時とは書<sup>か</sup>く場所が違<sup>ちが</sup>うので、

「4の部屋<sup>め</sup>の次」と覚えておきましょう。



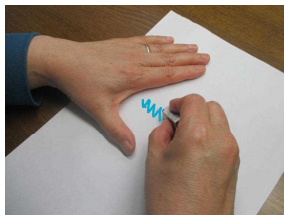
# 「きれいに消して書き直そう」にチャレンジ！

- 1 消したいところを左手（左利きの方は右手）でロック！



消しゴムで消すときに紙が動いてくしゃくしゃにならないように、消したいところを親指と人差し指の間において、しっかりおさえよう。

- 2 消しゴムはねらいを決めて、小さくに動かそう

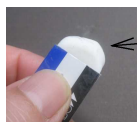


消しゴムをしっかり持ち、消しゴムの先を見ながら小さく動かし、少しずつずらして消していこう。（大きく動かすと、消したくないところまで中途半端に消えてしまいます。）

ちなみに・・・

## その1

せまい所を消すときは、消しゴムの一番とがったところを使って消すといいよ。



←この消しゴムならここ！

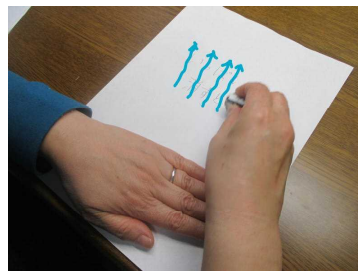
## その2

消しゴムが減っても、ケースから少ししか出ていないまま使っていませんか。こんなふうだとうまく消せません。ケースから1 cm くらいしっかり出して使いましょよう。



## その3

広い所を消すときは、紙を手のひら全体でしっかりおさえ、同じ向きに大きく消しゴムを動かして消そう。（消しながらもどすと、紙がくしゃくしゃになるので、一方通行です。もどすときは、持ち上げてね。）



きれいに書けたら、いつもより「がんばれた！」という気持ちになれますよ。ぜひ、チャレンジしてみてね。